



週報 佐土原ロータリークラブ

会長：宮原建樹 副会長：日高邦孝 RI2730 地区ガバナー 大迫三郎
 幹事：原田宗忠 会計：竹下 隆 中部分区ガバナー補佐 尾崎敏弘
 事務局：吉野由里子 会報委員：藤堂孝一 RI 会長テーマ **みんなに豊かな人生を**
 例会場：サンホテルフェニックス 2730 地区テーマ 職業奉仕の実践
 例会場住所：宮崎市大字塩路浜山 3083 番地 『ロータリーを実践し
 例会場 TEL：0985-21-1313・FAX 0985-21-1347 みんなに豊かな人生を』
 事務局住所：宮崎市佐土原町下田島 11703-18 TEL0985-62-7833 FAX0985-62-7877

RI テーマ

みんなに豊かな人生を

第 1276 回例会 平成 25 年 10 月 2(水)

<今日のプログラム>

- 1.点 鐘
- 2.ロータリーソング
- 国歌斉唱
- 「我らの生業」
- 3.会長の時間
- 米山奨学生 楊さんへ 10 月度奨学金
- 4.幹事報告
- 5.出席報告
- 6 ハッピーBOX披露
- ♪10 月のセレモニー
7. 委員会報
8. 会員卓話「林 萬松」
- フォーラム「職業奉仕」
9. 次週の例会案内
- 職場訪問
10. 点鐘
- 理事・役員会

第 1275 回例会記録 平成 25 年 9 月 25 日(水)

■会長の時間 会長 宮原建樹君



皆さまお疲れ様です。先週の観月会は皆さまお疲れ様でした。立派な十五夜飾りを用意していただきまして、林萬松君ありがとうございました。おかげ様にて非常に楽しいお

月見観月会となりました。

米山奨学生の楊が提出しなければならないレポートがございまして少し心配していたのですが、さすが楊さんです。先々週仕上がったレポートを手渡されました。カウンセラーの所見欄がありましたので書かせて頂きましたし今日皆さんにも披露したいと考えていたのですが、残念ながら忘れてしまいました。来週丁度楊さんが参加されますのでその時に披露いたします。楊さんの奨学金給付は 4 月から始まっていますから、もう後残り半年来年の 3 月までなのですね、観月会るとき皆さんのところと一緒に回ると良かったのですが、楊さんも席で話し込んでおられたのでそれはしませんでした。残り半年と思うとやはり寂しいですね。又機会ごとに皆さんとの交流をしていただけるように図りたいと考えておりますので宜しくお願い致します。

本日の職業奉仕の話です。

新入会員の方も迎えておりますので、ロータリーのスタートの話からさせていただこうと思います。1905 年の 2 月にロータリークラブが発足しました。初日にポールハリスが集まった数名に向かって、突然緊張した面持ちで話を始めたそうです。内容は「～君、君は仕立て屋と言う職業を持っています。私は弁護士です。それぞれのメンバーが自分の職業を持っているのですから我々はお互いの仕事を通じた取引をしてはどうでしょう！」という主旨の話をしたそうです。そこが原点の 1 業種 1 名となったようです。それ以降ずっと守られてきたのですが、12、3 年前から 1 業種 5 名という枠組みに改正されたようです。2 回目の会合はポールハリスの事務所で会員資格等の話し合いが行われました。3 回目の会合は石炭商の事務所の石炭置き場で行われました。ここでその石炭商を営む会員が初代会長に任命されたそうです。この時の会長任命時の経緯から、ロータリーは頼まれたら NO は無い、という流れができたようです。ロータリーのマークですが最初は馬車のモチーフを使っていたそうです、次に乗り物の車輪になり、次に現在のこのマークになったようです。来週はどのようにして「ロータリークラブ」という名前がつけられたのかをお話したいと思います。

■幹事報告

●幹事 原田宗忠君

<文書>

* 2013-2014 年度地区大会への女性会員ご協力のお祝い～10 月 12 日(土)第一本会議の受付時(11 時集合)におきまして受付業務のお手伝いをお願い致します。



* 10 月米山月間資料のご案内

* 中部分区会長・幹事会のご案内

日時 10 月 22 日(火)PM19:00～

場所 ガーデンテラス 会費 ¥6,000

■ 出席報告

●吉田 康一郎君

会員数 26 名 免除 2 名	出席数 18 名
欠席数 9 名	出席率 70.83%

正岡君 梶田君 大久保君
川端君 村岡君 永野君
高山君 村上君 長倉君



ハッピーBOX披露

●相川 久仁子君

<ニコニコへ>

◆ 川畑恵理子君～入会してすぐの欠席のおわびと縁を作って頂いた村上さんへのお礼と本当に良くして頂いて、佐土原ロータークラブの皆さんが益々好きになりました。という気持ちを込めて。

● 吉田康一郎君～先日のオークションにて少々利益がありましたので、ニコニコへ。

<財団へ>

● 岩切正司君～出席率を高めよう。

■ 委員会報告

● 吉田康一郎君

第三回佐土原ロータークラブバレーボールクリスマスカップ杯の日程が決まりました。今年は12月開催が無理との事で11月24日(日)に決まりました。近々実行委員会打ち合わせ会を行いますので宜しくお願い致します。

■ 会員卓話

● 柳田光寛君



最近メディアを賑わせている「新型うつ病」という言葉。「聞いたことがある！」という方も、きっと少なくないことでしょう。しかしこれは、あくまでメディアが作り上げた

「はやり言葉」です。新たに新型うつ病という病気が発見されたわけでもなければ、登場したわけでもない。もちろん、新型うつ病の定義や診断基準などもありません。ただし、うつ病の傾向や特徴が少しずつ変化してきたらしいです。今までは真面目で几帳面、責任感が強く勤勉な方がうつ病になりやすいと言われてきました。その真面目さ、責任感の強さゆえに自分を責めてしまい、やがて疲れきってしまう、というイメージです。ところが、こうした従来型のうつ病が徐々に少なくなって、ここ数年の間で、新しいうつ病の傾向も見受けられるようになってきました。たとえば、「仕事をしていないときは元気だけれど、仕事でだけうつ病になってしまう」というタイプ。「自分はうつ病だ」といって休みを取り、気分転換のためと称して旅行に行ってしまう、クラス会を主催したり……。このようなうつ病患者さんは従

来型の患者さんと違い、他罰的・外罰的な性質を持っていたりします。もちろん全部が全部というのではないのですが、責任の所在が自分ではなく常に外に向かっていて、自分の周りの人やもの・ことが悪いと考える傾向があるのです。もちろん中心にあるのはゆううつ感だし、孤独感や寂しさを抱えていることも確かです。うつ病の診断基準にも該当するのですが、かつてのうつ病イメージとはニュアンスが違う面があるわけです。新しいタイプのうつ病が目立つようになってきた理由は、主にふたつほど挙げられると思います。

ひとつは、うつ病の範囲が広がったこと。1980年頃に「真面目だとか几帳面だとかいった性格に関係なく、症状さえ当てはまればみんなうつ病」という、アメリカ流のうつ病の定義が日本に入ってくるようになりました。これが徐々に浸透し、定着したことによって、爆発的にうつ病と診断される患者さんが増えたのです。「症状さえ当てはまればうつ病」なわけですから、当然、いろいろなタイプのうつ病患者さんが現れます。生真面目、几帳面な方だけでなく、様々な性質を持った、より多くの方がうつ病と診断されるようになり、新しいタイプのうつ病の傾向が見られるようになってきたといえるでしょう。もうひとつの理由は、日本人の国民性が変化したこと。歴史の話になってしまいますが、その昔、日本には、倫理や道徳がなく、なにが正しくなにが間違っているのかさえわからない戦国時代という激しい内乱の時代がありました。これに対する反省という意味合いもあったのでしょうか……。徳川時代の初期に、儒教——特に朱子学の影響が取り入れられ、やがて官から民へとその哲学が伝わっていきました。それは「個人と社会のつながりを考え、なにが正でなにが邪かを議論し、そして正しいことを実践しよう」という方向です。これは武家社会の論理であって、庶民を支配しやすい社会構造を作ったとも言え、それはそれで問題を含んでいます。しかし、これが広がることで、他人への気配りや正義を守ろうという意識が生まれ、やがて真面目で遠慮がち、周囲の人を立てて一歩下がるという日本人の国民性が築かれたと言える面があるのです。長い間日本人の根底にあったこの儒教的な考え方が、文化や経済状況の急激な変化に伴って、ここ数十年の間で崩壊してきたように思います。そして、今現在、それに替わるような社会規範と言うか、時代をリードする思潮が提供されないということ。そのことが結果的に、ある意味わかりやすい従来型のうつ病だけでなく、複雑で混沌とした、まるで時代の迷いを反映したような新しいうつ病の傾向を生んでいるのだと思います。

4つのテスト

『言行はこれに照らしてから』

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか